

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2006.8.1

Vol.2

率先しよう

2006～2007年度 国際ロータリーのテーマ



2006-2007 R.I.D 2650



Mutual Trust 心のきづな
奉仕の感動を分かち合おう。

“新しい仲間たち”





Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

絆のはじまりは出逢いから。

ロータリークラブは100年以上続いている世界で唯一の奉仕団体です。
ボイドR.I.会長が「ロータリアンは地球村のリーダーです」とおっしゃるように、
ロータリーはステータスであり地域のリーダーとして活躍してまいりました。
しかし残念なことに、ここしばらくの間、世界的に会員が減少傾向にあります。
その原因のひとつに、ロータリーの真の姿を多くの方々に知ってもらい、
その活動を理解してもらい、その努力を私たちが怠ってきたことにあります。

「謙譲の美德」という言葉がございませうが、私たちボランティアのプロジェクトは、
多くの参加者の力を借りてこそ成功に導くことができ、また新たなプロジェクトが生まれ、
新たな人が育ってゆくことを望んでいます。
それだけに広く多くの方々にロータリー活動を一般の方々にも知っていただく必要があるのです。
そしてロータリアンの全員参加はロータリーの公共イメージをあげる最良の手段です。

市民も、ロータリアンも、NPOも、青少年も参加できる奉仕プログラムをぜひ創出してください。
共働することで、共に成功の感動を味わい、活動の理解の輪を広げ深めてゆくことになるかと存じます。
ローターアクトとも常日頃から交流を深め、啓蒙し、共に歩み、若きロータリアンの卵を育てましょう。

昨今、国家の品格、地域の、企業の品格という言葉に耳にします。
ロータリーは100年の奉仕団体として歴史を築いてまいりました。
これは大きな誇りであり、私たちロータリアンの品格のなせる技であります。
ロータリーの品格があつてこそ新会員、新しい仲間を増やすことができます。

会員増強は単に数だけの問題ではありません。
ロータリーで親睦を深め、奉仕活動に積極的に参加できる
品格ある人々に入会いただかなくてはなりません。
その人材を選ぶ私たちの品格も問われます。
ロータリーのエンブレムに誇りを持って、日々の活動を重ねてまいりましょう。
左の写真のように新年度に新メンバーとの新しい出逢いが、すでに始まっております。
絆を強め、会員増強への尚一層のご努力を期待しております。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井義久



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

会員増強 拡大月間



8月は会員増強・拡大月間です

— 認証状伝達式の感動

拡大委員長

岩本 金悟

(奈良東RC)

2006年5月21日、福井駅に到着した私達は、福井厚生年金会館に向かう多くのロータリアンと笑顔を交わしながら歩きました。会場に着いた私達に、「こんにちは、いらっしゃいませ!」「こんにちは、ようこそ!」あちらこちらから、沢山の歓迎の声が迎えてくれました。式典が始まるまでの間、控え室にて多くのバスタガバナーはじめ来賓方々が談笑なさっておられました。暫くして、式典会場にて国際ロータリー加盟認証状伝達式がはじま



会員増強は(退会防止)は

「クラブの魅力」から

会員増強委員長

森定 秀夫

(京都西北RC)

8月は正式に「会員増強及び拡大月間」に指定されていますが、私達はすばらしい魅力ある新しい会員を見出し、推薦することを毎月、自分自身への課題にする必要があります。新会員は、クラブに脈動とエネルギーを注入してくれるロータリーの活力源なのです。

2004年にRI理事会から「ロータリーの長期計画」が採択された。その目的は、①ポリオの撲滅。②プログラムの重点分野の明確化。③RIの組織構造の未来像を検討する。④ロータリーまたは各クラブのリーダーシップ体制の向上。⑤全てのレベルにおける研修活動と教育活動の充実。⑥ロータリーの拡大、世界中における会員組織の拡大と一本化。(ロータリーの拡大を多様性のある社会にあわせる。)⑦公共イメージの高揚。

その中で、②、③、④、⑤、⑥はDLPプランで地区組織の活性化と機能の充実を図り、実践の動機付けで、いままで実施済です。またCLPプランをクラブに浸透させ、クラブの組織機能を体力に

りました。本式典実行委員長より縷々ご披露があり、ガバナーのご挨拶、ご来賓のご祝辞のなか、厳粛に認証状伝達のセレモニーが執り行われました。福井水仙ロータリークラブ小林会長はじめ会員皆様におかれましては、感慨無量の瞬間であった事だと思います。

この度の式典にお集まりの一人一人は、全てロータリークラブのご縁を頂いて絆を結ばれた素晴らしい仲間同志であると言う事を確信した瞬間でありました。ロータリアン全てが、推薦と承認をもって会員となり、多くの義務と権利を与えられ、世界に広がる、同じ目的を持つ多くのロータリアンと友となる、その友の輪が今日の式典で広がったのです。素晴らしいことではありませんか、言葉を交わし、盃を交わし、笑顔を交わす。皆が何か大

きな物を手に入れた如く、自信に満ち溢れた最高の表情でございました。この最高の瞬間を私達の2650地区で次に、そしてまた次にと感じたいものです。

さて、私達のロータリークラブは1905年にシカゴロータリークラブが誕生して以来、世界168カ国に32,462クラブが設立され、会員総数1,209,790人に達しております。我が国におきましては、東京ロータリークラブが、1921年4月1日に世界で855番目として国際ロータリーに加盟認証されました。以来、日本国内で2327クラブ、会員総数101,321人となっております。いかがですか、私達ロータリアンは日本に、そして世界に、これだけ多くの仲間がいるのです、少なくとも同じ目的を持つ友が！すごいことではありませんか。この勇氣と自信と感動を会員皆様の隣におられる親友に「ロータリークラブの仲間にならないか！」と声を掛け、同じ感動を同じ目的を親友にプレゼントしてあげて下さい。

合った、ロータリーの基本理念を確立してクラブの活性化と地域との共生を目指しています。

そこでロータリー第2世紀のあるべき姿を考え、見直すことが重要になってきます。

1. 基本理念とは、ロータリーの「職業奉仕理念」と「超我的奉仕」の実践活動の強化が組織の永遠に繋がる。
2. クラブ組織の強化には、地域特性を盛り込んだ組織戦略が必要です。
CLPはロータリーの新しい試みですが、地域特性に変革して運用することが重要です。
3. 少子高齢化は避けて通れない、「他人の為に何かしようとする人間の本能を」生かすことで、地域の有望な会員候補者に誘い共鳴を求めて声をかければ、「地域に違いをもたらす価値ある活動的な組織のロータリー」に関心を深めて共鳴する。
4. ボランティアの動機付け、田を耕さないで収穫は不可能です。会員増強の苗床作りは、地域に密着した他の奉仕団体・NGO・NPOと連携連帯のネットワーク作りと地域の満足度を高めるところから始まる。

「変化して、多様化する地域社会」に対応することが肝要であり身の回りから基礎固めをしましょう。まず自クラブの魅力作り

地区会員増強全体会議の開催予定

10月15日(日)に地区会員増強全体会議を下記の時間・場所にて開催いたします。

日時：10月15日(日) 受付 14:00～
会議 14:30～

場所：キャンパスプラザ京都

が大切です。

また、ビル・ボイドRI会長は、クラブの新しい会員をひきつけることを考えることよりも、自分のクラブを強化しようと言いました。これは、会員増強は目的というより、「クラブの魅力」の結果です。この地道な考えを徹底することが、クラブの魅力になります。その努力を熱心にやっているクラブからは決して退会者が出ません。

当地区の平井ガバナーのテーマは「絆」です。その心の「絆」のもとで、大きな感動を伴う奉仕を行っていくと強調されています。

2006～07年度の提示されました強調事項は、①識字率の向上 ②水保全 ③健康、飢餓追放 ④ロータリー家族、そしてロータリーの永遠の命題である「会員増強」と「退会防止」です。

このような強調事項を推進していくためにも、会員増強は不可欠です。ロータリー活動はステータスです。各クラブ会長がリーダーシップを発揮して、CLPに基づいて、自ら率先して、充実したクラブの魅力と活動を築いてこそ、会員増強、退会防止に繋がります。

ロータリー発展のために努力しますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い致します。



ビル・ボイド
2006-07年度 国際ロータリー会長

会長賞について

クラブ会長各位

ロータリーに入会する理由はさまざまです。しかし、ロータリーにとどまり、活躍しているロータリアンのほとんどは、親睦と奉仕の機会を求めてクラブに来る人たちです。

2006-07年度、私は、共に協力し、親睦と奉仕が真に世界を変えることができることを人々に示していくようロータリアンの皆さんにお願いしたいと思います。誠実さが失われてゆく危機感を抱かすにはいられないこの時代においては、ロータリーの光を投げかけることがことさら重要です。私たちは「超我的奉仕」をただ掲げるだけでなく、常に誇りをもって、生活の隅々でそれを実践しなければなりません。ロータリーの理想に従うことで、私たちは地域社会をより一層充実させ、より良い未来へ向けて「率先」していくのです。

ロータリー・クラブがなければ、ロータリーは存在しません。クラブこそが、ロータリーの最も重要な仕事の担い手なのです。この会長賞は、数多くのクラブの業績を表彰するための方法の一つです。すべてのクラブ会員が積極的にクラブのプロジェクトに参加するならば、クラブはより充実し、効果的となり、成長し繁栄する可能性も高まります。2006-07年度、地域社会への奉仕、クラブ・プログラムの立案、奉仕プロジェクト

での活動、世界ネットワーク活動グループへの入会など、積極的に活動に参加するようクラブの各会員に求めてください。

クラブ、職業、地域社会、そしてこの世界にとって重要であると思われるプロジェクトや活動に取り組むことによって、「率先しよう」のテーマを実践されるよう、皆さんとクラブに奨励いたします。会長賞の資格として、私は、クラブが会員増強目標を達成し、本パンフレットに挙げられている5分野のうち4分野からそれぞれ一つの活動を遂行されるようお願いいたします。プロジェクトを決める前に、どのような人々を援助するのかをよく考慮した上で、できる限りそれらの人々に意思決定のプロセスに関与してもらうようにしてください。

クラブがこれらの活動を果たされたならば、申込書に記入し、2007年4月1日までに地区ガバナーに提出してください。その後、ガバナーが、申請書を提出したクラブのリストを2007年4月15日までにRIIに送付することになります。

クラブが取り組む活動を選定するにあたっては、実用性を重視し、野心の広さよりも着実な計画がプロジェクトの成功を左右するという点を銘記されるようお願いいたします。引き続き真のニーズを見極めながら、これらのニーズに対し、理想主義や夢想ではなく着実な努力と確かな知識に基づいた、公明正大で協力的かつ持続可能な方法で取り組んでください。

より良い未来へ向けて「率先しよう」を実践される方々を表彰するにあたり、皆さんのクラブに2006-07年度会長賞を贈ることができますことを心より楽しみにしております。

会員目標（必須）

2007年4月1日までに会員1名の純増を達成するために、会員勧誘計画を立て実施する。

会員増強

- ◆少なくとも1名のロータリー財団学友に対し、クラブに入会するよう勧誘する。
- ◆会員の多様性を奨励し、均整の取れた会員基盤を推進する。クラブに現在会員のいない属性のグループから新会員を入会させる。
- ◆新ロータリー・クラブのスポンサーとなる。
- ◆新会員をクラブに入会させた個人に表彰状を贈るなど、認証方法を考案する。

クラブ奉仕

- ◆今年度に、クラブの全ロータリアンがクラブの活動に積極的に参加するよう、一人一人に呼びかける。プロジェクト委員会の委員を務めたりクラブ奉仕の一部を担当するなど、参加の形は問わない。
- ◆クラブのロータリアンで広範囲にわたるさまざまなクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者として表彰する。
- ◆今後3年から5年の長期目標について話し合うため、次期役員も含めたクラブの指導者を集めて会合を問く。
- ◆ポリオ・プラスにクラブから寄付を行う。
- ◆クラブ奉仕を支援する新しいプロジェクトを立案し、着手する。

- ◆少なくとも5回、配偶者や子供をクラブ例会やクラブの行事に同伴するよう呼びかける。
- ◆奉仕や親睦活動を通して、会員の家族でロータリアンではない人々(配偶者、成人した子供、物故会員の配偶者など)をロータリアン家族に迎え入れ、参加してもらう。
- ◆家族月間(12月)中、ロータリアンの家族、および彼らの支援がクラブの成功にとっていかに大切であるかを認め、感謝の意を表明する。
- ◆ロータリー年度の前半期に、クラブ例会において80パーセント以上の出席率を達成する。
- ◆ポリオ・プラス、および世界ポリオ撲滅推進活動における国際ロータリーの役割に関するクラブ・プログラムを実施する。
- ◆地元の非政府団体(NGO)または市民団体から講演者を招いたり、他の地元団体と合同プロジェクトを行うなどして、地域社会とのつながりを築く。
- ◆クラブ細則を改訂するか、標準ロータリー・クラブ細則を採用する。
- ◆地元メディアに対してクラブのプロジェクトを広報する。
- ◆会員増強・退会防止、奉仕プロジェクト、広報、ロータリー財団、クラブ管理運営に取り組むためのクラブの長期計画を策定する。
- ◆親睦行事に会員全員を参加させる。

職業奉仕

- ◆クラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や専門職業団体と共有するよう求める。
- ◆職業奉仕がいかに生活の質を向上させ、ロータリアンの高い倫理観と誠実さを支える可能性を秘めているかについて、少なくとも2回、クラブ例会で取り上げ、話し合う。
- ◆職場に「四つのテスト」を掲げるよう会員に奨励する。
- ◆職場での倫理と四つのテストの適用に関する集会を開くか、またはすべての新クラブ会員に「ロータリアンの職業宣言」(200-JA)を配布する。
- ◆職場における識字率向上のためのプロジェクトを立案する。
- ◆クラブの各会員に、若い人の指導を行うよう求める。
- ◆職業奉仕を支える新しいプロジェクトを立案し、着手する。
- ◆障害者のための職業開発プロジェクトを提唱、または参加する。
- ◆職場に復帰する人々のための技能維持プロジェクトを提唱、または参加する。
- ◆職業奉仕月間(10月)中に特別職業奉仕活動を組織するか、またはクラブ会員1名をロータリー・ボランティアとして登録する。
- ◆少なくとも1名の会員に、職場で高校生や大学生のためにインターンの場を提供してもらう。

社会奉仕

- ◆他の地元団体と合同プロジェクトを実施し、クラブ会員が計画や実地活動に寄与する。
- ◆地元地域で水保全プロジェクトを実施する。
- ◆印刷媒体、ラジオやテレビ番組、看板などでロータリー公共

- イメージ・キャンペーンPSA(公共奉仕広告)を展開することによって、一般の人々にロータリーについて広める。
- ◆地域社会のニーズ査定を行い、今年度中に、社会奉仕を支える新しい奉仕活動を実施する。
- ◆地域社会のニーズに適い、受益者にも参加してもらえる奉仕プロジェクトを実施する。
- ◆奉仕プロジェクトにクラブ会員全員を参加させる。
- ◆保健への認識向上キャンペーンもしくは保健問題に取り組むプロジェクトを提唱もしくは参加する。
- ◆インターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、またはロータリー地域社会共同隊のスポンサーとなる。
- ◆ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の行事を開催する。

国際奉仕

- ◆「毎年あなたも100ドルを」の目標である、一人当たり米貨100ドル以上の年次プログラム基金寄付を達成する。
- ◆少なくとも1件のポリオ・プラスまたはポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトに参加する。
- ◆研究グループ交換、ロータリー友情交換、ロータリー青少年交換といった国際交換プログラムに参加することによって、クラブ会員にロータリーの国際性を理解してもらうよう努める。
- ◆ロータリー財団教育プログラム(国際親善奨学金、研究グループ交換のチーム・メンバーまたはリーダー、ロータリー世界平和フェロシップ、ロータリー平和および紛争解決研究プログラム、大学教員のためのロータリー補助金)に、少なくとも1名の有力かつ資質の優れた候補者の申請書を地区に提出する。
- ◆ロータリー・ボランティア・プロジェクト実施地として、プロジェクトをRIに登録する。
- ◆水保全、保健、飢餓、識字率向上プロジェクトのためにロータリー財団マッチング・グラントを申請する。
- ◆世界社会奉仕プロジェクト交換(WCS)一覧表に登録されているプロジェクトを支援もしくは登録する。
- ◆国際奉仕を支える新しいプロジェクトを立案し、着手する。

2006-07年度ローターアクト会長賞

ローターアクト・クラブも、「率先しよう」の理想を実践する価値ある奉仕活動を実施することにより表彰されます。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、本要項に挙げられた活動の中から少なくとも3つの活動を実行しなければなりません。ただし、そのうちの一つは社会奉仕、もう一つは国際奉仕に属するものとします。提唱ロータリー・クラブ会長がローターアクト会長賞申込書に署名し、2007年4月1日までにRI地区ガバナーに提出しなければなりません。その後、ガバナーが、申請書を提出したクラブのリストを2007年4月15日までにRIに送付することになります。

「ゆとり」と「たるみ」

ロータリー情報副委員長 奥村 照夫 (京都八幡RC)

君子、いや、ガバナーは三度(みたび)姿を変える。地区大会、IMなど、遠くから見るときは近づきたい威厳があり、公式訪問に親しく接して見るとその人柄の暖かさが伝わってくる。さらにガバナーアドレスの言葉を噛み締めると優しさの中に厳しさが分かってくる。毎年肌で感じる事です。新年度も早や1ヶ月が過ぎました。平井ガバナーは持前のパワーと迸るエネルギーを持って公式訪問にスタートダッシュ。その姿が浮かびます。大久保直前ガバナーには少しはやれやれと「動中の静」と心静かに新茶を嗜み充実した一年を振り返って頂き、更に今後は地区の重鎮として豊富な知識と経験を生かしてご指導いただくことを願います。

我々地区情報委員会は年初の計画を実行に移しクラブ情報委員長各位の背後より激励の応援旗を振ります。この一年間クラブ発展の為に行動を起こす千載一遇のチャンスです。活躍されることを期待します。それにより地区内一人ひとりの活力が大きくなるとなりクラブから地区へ大きな奉仕の輪、親睦の和が広がることでしょう。ロータリーも100年を経てこれからの100年、過去を忘れず足元を見据えて未来へ。一年で結果を見なければ花を植え、10年で結果を見なければ木を。

教育は100年と言われています。ロータリーも繁栄なくして100年先はありません。今疎かにしては10年先が危ぶまれます。継続は力なり。しかし現状維持では衰退につながります。自らを律し心豊かでなければ奉仕の心も湧きません。毎例会、奉仕の歩みが金となります。しかし心は厄介なもの、ころころ

と変わります。だから心と言いまして時には乱れ、狂いが生じます。和顔愛護をもって心の扉を開き周囲を見渡せばいろいろな奉仕が見えてきます。それは十人十色見方によって変わりますがロータリアンであれば必ず素晴らしい奉仕でありましょう。心を添えた実のある奉仕です。そこには笑顔が絶えない親睦と友情が渦巻いています。

そのような奉仕の味をしめると癖になるものです。それが一昧も二昧も異なる人間味となって自らに返って来ます。オリンピックの聖火を何万人の人に分けあたえても元の通りであるように幸せはいくら分け与えても減ることがありません。

感謝の心が礎にあれば幸の波が止めどなく押し寄せてくるものです。この世は苦楽を共にと言いますが、苦や厳しさを体験してこそ楽しさや人の痛みが分かります。ロータリーも近年時の流れもありますが緩みが見え隠れ、厳しさあつてのロータリーかも。サーカスの綱渡りのロープのように適度の「ゆるみ」は「ゆとり」を与えてくれますが弛んでいては用を足しません。歯車が止まります。これからのロータリー100年の道、平穩なかいばらの道なのか。しかしこれだけは言えます。楽しくなければロータリーではありませんが皆々が楽しくしなければロータリーでもありません。

それはあなたの心にあります。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

広報について

- ◎ 「行動広報」 D.2650 2005 22p
【申込先：ロータリー文庫】
- ◎ 「超我の奉仕(広報について) D.2630 2005 3p
【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「動き出した広報」 武部 宏 2005 2p
【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「広報と宣伝・広告のちがひ」 大久保 昇 2005 3p
(D.2650月信) 【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「『広報・ITに関するアンケート調査』」の集計結果について 岡本比呂志 2006 2p (D.2650 月信)
【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「広報の立場から」 西村二郎 1982 1p
【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「ロータリーに於ける広報とは何か」 前原勝樹 1985 2p 【申込先：ロータリー文庫(コピー)】
- ◎ 「ロータリーを『わかる』ために一巻き込み、渦を起こすのが広報」 森三郎 1995 16p
【申込先：ロータリー文庫(コピー)】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=10:00~17:00 休館=土・日・祝祭日

10地区で地域別会議

会員増強副委員長 高橋 裕夫 (京都RC)

2006～07年度地区会員増強委員会（森定秀夫委員長）は6月10日、京都市南区の京都JA会館で京都市域第一グループの地域別会議を開き、会員増強活動をスタートしました。

この日は、京都市内に拠点を置く11RCの会長エレクトや各RCの次年度会員増強委員長24人（代理を含む）と地区から太田和夫ガバナー補佐、森定委員長らが出席。あいさつのあと、まず、今年度入会者16人、退会者0の純増16人を果たし、RI会長賞を受けた京都紫竹RCの細見正博会長から「紫竹RCの会員増強について」を聞きました。

細見会長によると、4年前に幹事になったとき（当時の会員数35人）、05～06年度の創立15周年時に会長になることが予想できたので、この時を節目に50人まで増やすことを計画、続いて副会長、会長エレクトになったが、いずれも会員増強委員長を引き受けて、増強に取り組みました。そして、会長

になってから会員同士が危機意識を共有することにし、会員の意識改革、事務局の改革に手をつけ、高齢者や病気の人のため「シニアプラン」を創設し、退会者が再入会しやすいようにしたり、出席時だけ食費を徴収するようにした・・・といっています。細見会長は「100人になるまであきらめない」との決意も示しました。

このあと、各クラブから増強目標や、最近の会員の動向、増強の問題点などの報告があり、意見交換では「紫竹RCの話は大いに参考になった」「メモリアル年を利用すべき」「退会者への働きかけが大事」のほか、女性会員や会員の高齢化などについて意見が交わされました。

地域別会議はその後、ほぼ毎週のように開かれ、7月末には10地区すべてで終わりました。



「国際青少年交換学生募集」について

青少年交換委員長 楠 滋夫 (亀岡中央RC)

皆様こんにちは。今年度も青少年交換学生募集の時期がきました。もうすでに皆様のクラブには募集要項と申込書が届いていると思います。

ロータリー国際青少年交換事業の歴史は古く、1929年デンマークで提案され、第1回交換は、アメリカのカリフォルニア州とラテン・アメリカの数地区の間で、1939年に始まりました。当地区では1971～72年、アメリカとの学生2名の派遣、受入から始まりました。お陰さまで2650地区における青少年交換学生の数は、今までの派遣、受入学生の総合計数が1000名をはるかに超えました。これも30数年の長きにわたり支えて頂いたロータリーアン、ホストファミリーそして学校関係者の賜物と深く感謝申し上げます。

しかし、この数年応募学生が減少したため、交換先を減らしています。十数年前には応募学生に比べ派遣先が不足していた為、ヨーロッパ諸国を訪問して派遣交渉をしたことを手始めに、世界会議が開催される直前に行われる青少年交換役員会議に、毎年必ず出席するように務め、各国の交換役員との交換交渉をして来ております。因って当地区は交換国並びに派遣学生の増員を行うことができました。現在交換を行っている国はアメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ・ハンガリー・ベルギー・デンマーク・スウェーデン・南アフリカ・オーストラリアなどです。例年、交換学生の募集は、7月より9月にかけて行われますが、1学生が交換学生に応募するには地元のロータリークラブにスポンサーをしてもらわないと応募ができないシステムになっています。海外での勉学に非常に熱心な学生がいても地元でスポンサーしてくれるクラブが



見つからなければ応募する機会がありません。スポンサーするクラブは、一人の派遣学生をスポンサーして海外に送れば、交換に一人の海外からの受入学生をホストして1年間面倒を見るシステムになっています。受入学生をホストすることは、生活習慣も違う、費用もかかるとなると世話もなかなか大変です。でもその反対に喜びも大きいです。学生が少しずつ言葉を覚え、日本の生活にも慣れてくると徐々に楽しくなってきます。ご自分のお子さんと同じように一年間育ててやろうと思って頂ければ幸いです。

派遣学生も受入学生同様に苦労しております。海外に出れば頼れるのは自分だけになるのですから。でも、この一番多感な時期にこのような体験を出来ることは素晴らしいことではないでしょうか！ロータリーの中には様々なプログラムがありますが、この青少年交換のプログラムは、青少年少女が大人になっていく過程において人間としての素晴らしいところ、その反対に嫌なところを学ぶことが出来る人生勉強のプログラムだと確信しております。交換学生は留学生ではなくて小さな親善大使なのです。子供達が1年間海外で生活をし、今まで関心がなかった政治や貧困の中で暮らす人々の事など様々な事に関心を持って帰ってきます。1年前の子供達とは見間違えるほど成長をして帰ってきます。学生達誰もが何かを得て帰ってくるのです。ある日、偶然に搭乗した飛行機の中に客室乗務員になっている元交換学生に声をかけられ驚きと共に感動を覚えます。しっかりと学んで来た事を活かした仕事についているのです。どうぞ、クラブの皆様この素晴らしい青少年交換のプログラムを一人でも多くの高校生に紹介して頂きますことを何卒よろしくお願い致します。





2007～2008青少年交換学生募集要項

- 〔派遣先〕 アメリカ・カナダ・オランダ・ベルギー・デンマーク・スウェーデン・ハンガリー・オーストラリア・アルゼンチン・ブラジル・メキシコ・南アフリカ 以上12ヶ国とする。但し、派遣先についてはロータリークラブの地区委員会にて決定致します。
- 〔資格〕 ロータリークラブの推薦する男女高校在學生（2007年8月末の時点で15才以上18才未満）で、学業成績は平均以上なるべくクラスの上位3分の1以内の者。
- 〔期間〕 1年間（2007年7・8月出発）（就学期間2007年9月～2008年7・8月）
- 〔費用〕 往復航空運賃一切……………本人（保護者）負担
 疾病障害保険料……………本人（保護者）負担
 （当地区規定の最低限度額に加入して頂きます。）
 （派遣先によっては相手地区の指定保険にも加入して頂く場合があります。）
 ユニフォーム代……………本人（保護者）負担（地区制定のブレザー）
 青少年交換計画参加手続き費用……………100,000円 本人（保護者）負担
 （研修会、名刺、交換用バッジ100コ、派遣先との交換交渉などの費用に充当します。）
 受入地における費用……………学費（教科書、授業料等学校に要する費用）及び、若干のお小遣いは受入地区の委員会もしくは、受入RCより支給されます。派遣地区主催の小旅行の費用は個人負担です。食事および宿泊は引受家庭において家族の一員として待遇され、費用負担はありません。

- ◎応募期間 2006年7月1日～2006年8月31日
- ◎応募方法 住所または学校の最寄りのロータリークラブ（国際ロータリー第2650地区＝京都・奈良・滋賀・福井の各府県内）に備え付けの応募用紙に記入の上応募して下さい。各クラブでの選考後、地区の選考会で面接の上決定します。
 ※最寄りのロータリークラブが解らない場合、また、推薦を受け付けられない場合は、下記国際ロータリークラブ第2650地区青少年交換委員会までお問い合わせ下さい。
- ◎派遣人員 約20名（京都・奈良・滋賀・福井の4府県内）
- ◎選考 地区青少年交換委員会は10月9日に本人、保護者、クラブ責任者と面接し選考いたします。

お問合せ先

委員長 楠 滋夫（亀岡中央RC）	〒621-0846	亀岡市つつじヶ丘大葉台1-24-10	0771-25-1373
副委員長 伊登 孝司（福井北RC）	〒918-8203	福井市上北野1-36-13	（株）乃し三 0776-57-7010
（メキシコ・南半球担当）			
副委員長 奥村 好隆（大津唐橋RC）	〒520-2145	大津市大將軍3-19-6	077-543-9098
（アメリカ・カナダ担当）			
ヨーロッパ担当 北之坊 和代（王寺RC）	〒636-0002	奈良県北葛城郡王寺町久度1-9-20	0745-33-6100

◆ご不明な点は、上記の担当へご遠慮なくお尋ねください。

2008-09年度 ガバナー・ノミニーの決定

国際ロータリー第2650地区2008-2009年度 ガバナー・ノミニーについて、RI細則13.020.7に基づき、去る6月26日付にて地区公示を行いましたところ、公示期限の7月10日までに対抗候補者の届出がありませんでした。

つきましては、地区ガバナー指名委員会が推薦した候補者（近江八幡ロータリークラブ会員）川端 五兵衛君を、RI細則13.020.9により、2008-2009年度当地区ガバナー・ノミニーに決定したことを宣言します。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー **川端 義久**



川端 五兵衛 (かわばた ごへえ)

近江八幡ロータリークラブ会員

生年月日 1937年（昭和12年）11月14日

現住所 〒523-0877 滋賀県近江八幡市池田町4丁目22

最終学歴 1960年3月 京都薬科大学卒業

業分類 薬品配布

ロータリー歴

1973年 近江八幡ロータリークラブ入会
 1983～1984年度 職業奉仕委員長
 1990～1991年度 青少年委員長
 1991～1992年度 会長エレクト
 1992～1993年度 会長（意義ある業績賞・ガバナー賞「近江八幡緑の少年団設立」受賞）
 1998～2001年度 財団近江八幡ロータリー奨学会理事
 1993年～ 米山記念奨学会功労者
 ポールハリスフェロー
 マルチプルフェロー
 ベネファクター

職歴

1960年～1964年 株式会社三星堂入社
 1964年 株式会社ダイゴ入社
 1966年 同上 取締役
 1969年～1992年 同上 代表取締役社長
 1992年～1996年 株式会社協進代表取締役副社長
 1998年～現在 近江八幡市長

団体職歴

1969年～1989年 社団法人近江八幡商工会議所常議員

1996年～1998年 社団法人近江八幡商工会議所監事
 1975年度 社団法人近江八幡青年会議所理事長
 1978年～1999年 滋賀経済同友会幹事
 1978年～1997年 社団法人日本医薬品卸連合会理事
 1978年～1998年 滋賀県医薬品卸協会会長
 1982年～1988年 社団法人滋賀県薬剤師会監事
 1990年～1995年 社団法人日本医薬品卸勤務薬剤師会近畿ブロック長
 1994年～1998年 社団法人日本医薬品卸勤務薬剤師会副会長
 1980年～1982年 社団法人滋賀県計量協会理事
 1981年～1996年 学校法人京都薬科大学理事
 1987年～1990年 同上 常任理事
 1990年～1993年 同上 理事長
 1997年～1998年 財団法人近江八幡ハートランド推進財団理事長
 1997年～現在 民事調停委員

賞罰

1993年10月 滋賀県知事表彰（薬事功労）
 1994年11月 厚生大臣表彰（薬事功労）
 1999年4月 藍綬褒章

ロータリー財団強化袋についてのご案内とお願い

ロータリー財団 地区財団年次寄付・下世古 晋 (京都洛南RC)
財団恒久基金委員長

年次寄付プログラム基金は、寄付額の50%がDDF（地区財団活動資金）として3年後に地区に返還され、シェアを通じて財団プログラムを賄う資金となり、寄付額の50%はWF（国際財団活動資金）として人道的プログラムなどを賄う資金となります。今年度から比率が50対50に変更になりましたのでDDF（地区財団活動資金）が10%減額された事になります。これらをかばっていくためには、2650地区として2006年～2007年度、会員一人一人が寄付増進により取り組みやすくするため【ロータリー財団強化袋】を作成しました。袋の裏側はエチオピアの少女達が、インクのついた指を掲げて、ポリオの免疫付与を受けたことを示しています。下段はナイジェリアのカノ州で子供たちにポリオの予防接種を行うためのワクチンが入った冷蔵容器を運ぶボランティアの最新の写真です。表側はRIのテーマ率先しようと2650地区テーマ心のきずなです。下段は財団年間11月 他8月、3月、6月を財団推進月間とさせて頂きました。寄付は自分との戦いもありますが、節約できた分財団袋に投入して頂けるようにご協力お願い申し上げます。2650地区は世界でも優秀な地区です。一人当たり150ドルを目指そうではありませんか。感動あるロータリーの夢を叶えたいと思います。



7月号ガバナー月信P29「幹事報告・送金等主要事務」記事の「送金先」に誤りがありました。下記のようにご訂正をお願いいたします。お詫びして訂正いたします。

幹事報告・送金等主要事務	
事 項	送 金 先
3. 「ロータリアン」(The Rotarian) 購読数報告 1冊に付(半年分)6ドル	●国際ロータリー日本事務局 事務局長 大 島 四 郎 三井住友銀行 新宿通支店 口座番号 普通 6733244

公式訪問が始まりました ●



福岡



京都



京都

東奔西走、平井ガバナーの公式訪問がいよいよスタート。



彦根



綾部



大津

会員お一人ずつの活力あふれるお話を拝聴し、



敦賀



敦賀



鯖江

強い志のもと、必ずすばらしい実績を築かれることと期待しております。

財津 晃 パストガバナーを偲んで

パストガバナーで長浜ロータリークラブ会員の財津 晃氏が7月5日(水)にご逝去されました。謹んでここにご冥福をお祈り申し上げます。

財津 晃氏は1967年2月に長浜ロータリークラブに入会。1983年～1984年に当地区ガバナー、その後 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー財団等の諮問委員、又、地区1Mのゼネラルリーダーを2002年・2003年に務められ、永年にわたりロータリーを深く愛されたことは、私も大先輩として敬慕いたしておりました。

また、ロータリーのみならず、ご職業の医療活動を通じ地域住民との絆を深められ、日本病院会理事・滋賀県病院協会理事等の公職に尽力され、お亡くなりになるまで長浜赤十字病院名誉会長をお務めになり

ました。このように医療関係へ多大な貢献をされ、また多岐にわたりご活躍されました大先輩を失い、深い悲しみに耐えられません。ガバナーに就任させていただき、多方面でのご指導・ご助言を賜りたく存じておりましたのに、誠に残念でなりません。

財津氏のご偉業に学び、ロータリアンとして、また職業人として地区発展のために一層の努力をいたすことをお誓いし、追悼のことばとさせていただきます。

国際ロータリー第2650地区
2006～2007年度ガバナー
平井 義久



財津 晃氏



京都

京都南

京都南

各クラブの皆様、あたたかいご歓迎に心より感謝いたします。



京都西南

橿原

橿原

京都南

貴重なご意見をお聞かせいただき大変参考になりました。



舞鶴

近江八幡

近江八幡

会員同士の絆を深め共に協力してまいりましょう。



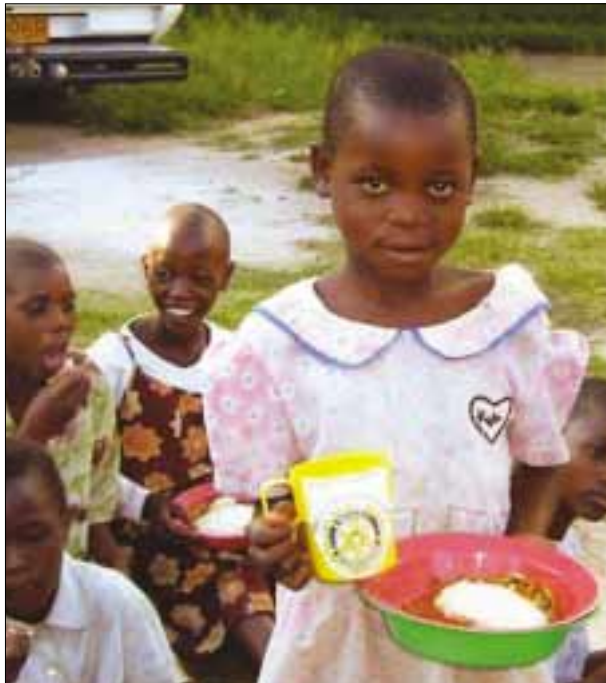
公式訪問時に、献花を行う平井ガバナー
(7月10日(月)長浜RCにて)。

ホームページで「絆」を深めよう



<http://www.rid2650.gr.jp>

地区ホームページには、ガバナー事務所便り、クラブ便り、委員会便りのコーナーがあります。ブログ形式で、地区内で行われている活動をできるだけ早くお伝えする体制をとっています。一度地区ホームページを見てください。他のクラブがどのような奉仕活動を行っているかよくわかります。平井ガバナーの公式訪問の様子も、掲載されています。又、クラブで行われている活動を他のロータリアンに伝えてください。ガバナー事務所にメールでお送りいただければ、すぐに掲載いたします。



ROTARY WORLD 2006年7月号より転載



星の数ほど人はいても、絆で結ばれる人々はほんの一握りに過ぎません。地球という一つの星の上でめぐりあい、触れ合い、心が通いあうことは人生の中で大きな喜びです。家族の絆、友人との絆、地域社会の人々との絆、世界の人々との絆、2650地区ではこの絆の精神を大切に共に力を合わせ、理想的な奉仕の実現をめざしたいと願っています。

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol.2

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
会員増強・拡大月間	3
会長賞について	5
委員会だより	7
国際青少年交換学生募集について	9
第2560地区だより	11
公式訪問が始まりました	13

<http://www.rid2650.gr.jp>



国際ロータリー第2650地区 2006～2007年度

ガバナー事務所 〒604-8186 京都市中京区烏丸御池南東角アーバネックス御池ビル西館3階 電話(075)229-2650 Fax(075)229-2651 E-mail:gov06-07@rid2650.gr.jp
GOVERNOR OFFICE % URBANEX-OIKE Bldg, WEST 3F KARASUMA OIKE MINAMI-HIGASHI-KADO NAKAGYO-KU KYOTO JAPAN 604-8186
Phone:+81-75-229-2650 Fax:+81-75-229-2651 E-mail:gov06-07@rid2650.gr.jp

表紙制作にご協力いただきました

絆の主旨をご理解いただき、ご出演いただきました[特定非営利活動法人 京都インターナショナルスクール]の皆様をはじめ、多くのご協力に厚く御礼申し上げます。